

だ
と
し
ら
ぬ
か
議
2017.4.25

Shiranuka

No.136



「私たちの通信簿」
これまでの2年間、これからの2年間

新世紀 シラヌカチョウ

—示された未来への挑戦—

未来を変える!!
平成29年度予算

〔傍聴席から〕
栗山さんご家族
「しらぬかで見つけた『人生の楽園』」

〔しらぬかいい店こんな店〕
居酒屋しん

Contents

P2 未来を変える!! 平成29年度予算

P10 [私たちの通信簿]
これまでの2年間、これからの2年間

P20 [傍聴席から]
栗山さんご家族「しらぬかで見つけた『人生の楽園』」

人口減少が止まらない。
国の機関(※1)が2013年に

公表した「日本の地域別将来推計人口」によると、本町の2040年の人口は4602人と推計され、更には、学者等で構成される日本創生会議が示した数値はより厳しいもので、2040年の人口は3799人と算出されました。

この数値は現在本町よりも人口が少ない標茶町や弟子屈町を下回るもので、そして残念ながら、本町の人口は国の機関が推計した以上に人口減少が進んでいきます(※2)。

しかし、先人から豊かな自然と多様な文化を受け継いできた「ふるさと白糠」を、このまま衰退させるわけにはいきません。

人口減少に歯止めをかけるという難題に向かって、新年度予算においては過去最大となる98億円(一般会計)の予算を計上し、町有地の無償提供や出産祝い金の支給、第2子以降の保育料無料化などさまざまな施策を盛り込みました。

全国的な人口減少という流れの中、ひとときと厳しい状況におかれている本町がその流れにどこまで抗うことができるのか。2017年、示された未来を変えるため、小さな町の挑戦が始まります。

※1 国立社会保障・人口問題研究所 (以下:社人研)

※2 社人研が示した2015年の推計値8348人(公式HPより)。
白糠町の同人口8071人(国勢調査速報値)。

新世紀シラヌカチョウ

—示された未来への挑戦—

未来を変えろ!!

平成29年度予算

平成29年度の一般会計当初予算は、人口減少対策として子育て世代への支援を中心としたさまざまな新施策を盛り込み、過去最高額の98億円となりました。示された未来(2ページ参照)を変えるため、勝負手として打ち出した新施策。その中から注目される事業並びに大型事業を紹介します。

医療費無料化 250万円 対象者の拡大

子育て世代の経済的負担を軽減するため、従来中学生までだった医療費の無料化を18歳までに拡大します。
担当：福祉課児童福祉係

入学支援金 300万円 人の支給

子育て世代の経済的負担を軽減するため、新入学の小学生2万円、中学生3万円を商品券で保護者に支給します。(他制度の対象により除外の場合有)
担当：教育委員会管理課学校教育係

町有地の無償提供 2100万円

西庶路の町有地を8区画造成し、町内外の移住・定住希望者に対して無償で提供します。(区画造成費2,100万円)
担当：企画財政課

移住者用住宅 1500万円 の整備

短期滞在者および移住希望者用として公営住宅4戸を改修します。
担当：建設課住宅管理係

ふるさと納税 10億円

ふるさと納税として10億円の寄附を見込み、その内、約3億円が返礼品代、その他に、送料、賃金、インターネットポータルサイト事業者への手数料、委託料等で4億円、残りの約3億円を町の事業に使用します。
担当：企画財政課ふるさと納税推進係

固定資産税 1万円 の減額

移住・定住の促進を図るため、現行の地方税法による減額措置と同額を減額します。
例 地方税法の減額が6万円の場合、同額の6万円を3年間減額。計18万円の支援!!
担当：税務課資産税係

保育料の無料化 920万円 (第2子以降)

子育て世代の経済的負担を軽減するため、第2子以降の保育料を無料にします。
例 保育園児の場合、年間およそ10万円の支援!! (平均見込額。所得により異なります)
担当：福祉課児童福祉係・教育委員会管理課学校教育係

地域活性化支援員 2500万円 の増員

現在2名(3月末)で活動している地域活性化支援員を5名(予定)に増員します。
報酬1,800万円のほか、各種手当、旅費等を計上しています。
担当：経済課・企画財政課・介護健康課・教育委員会

出産祝い金 1万円 の支給

平成29年4月1日以降に第1子として生まれた子供の保護者に対して5万円を商品券で支給します。(出生後1年以上の居住が条件。支給は平成30年度から)
担当：介護健康課健康相談係

給食費の無料化 1200万円 (第2子以降)

子育て世代の経済的負担を軽減するため、第2子以降の給食費を無料にします。(他制度の対象により除外の場合有)
例 小学生の場合、およそ1食220円×200日＝年間44,000円の支援!!
担当：学校給食センター

荷さばき施設 5億円 改築助成

老朽化した荷さばき施設等を白糠漁協が改築するにあたり、漁協に対して5億円を助成します。(その内、半分の2.5億円は漁業振興のために積み立てていた漁業振興基金を取り崩します)
担当：経済課水産係

財政に関すること

問 公債費の残高及び償還のピークはいつ頃か。
 答 残高は平成31年度で108億7千万円。償還金は平成39年度の11億6千万円。
 (平成28年度末残高90億5千万円。償還金7億6千万円)

問 交際費の支出基準はあるか。
 答 慶弔関係については内規に沿って支出している。その他については明確な基準を定めるのが難しい。

問 滞納整理機構に負担金を払って滞納者の徴収を依頼しているが、費用対効果は。
 答 納めている負担金の5倍程度の金額が徴収されている。

問 コンビニ収納は実施しないのか。
 答 役場内の担当者会議の中では29年度に検討を深めるよう協議している。

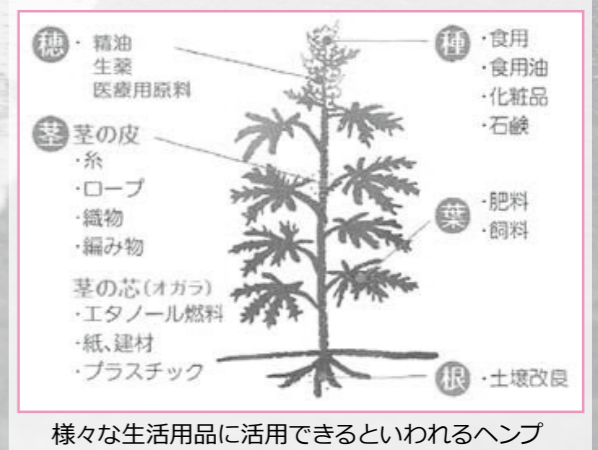
問 無償で提供する町有地に建設された住宅について、固定資産税も減額するのか。
 答 無償提供地での建設に限らず、新年度からは町内に新築された住宅全てが対象になる(基本は3年間。耐震性などに優れた長期優良住宅の場合は最長7年間)。

問 ふるさと納税の返礼品がかたよっているという声を聞くが実態はどうか。また、品目を増やす考えはないか。
 答 「いくら」が約半分を占めるが、他の品物についても前年より伸びており、「いくら」が他の品物も含めて牽引していると考えている。品物は今後増やしていきたい。

問 エゾシカ有害駆除事業で罠による捕獲を認める考えはないか。
 答 安全対策・条件整備をした上で有害駆除の対象としたい。猟友会と確認した中で進める。

問 地域活性化支援員の業務内容等は。職員では対応できない事なのか、また雇用期間は何年か。
 答 採用予定は以下のとおり。各分野で職員ではなく、支援員が専門的に取り組みたい。雇用は単年更新で、1年毎に状況をみて考える。
 ① 農業分野。将来的に町内に就農する事を目的とした野菜生産技術の習得。
 ② 商業分野。空き店舗・空き地の解消。
 ③ 観光分野。上茶路おどろきの森の各事業支援。
 ④ 教育分野。教育・スポーツ推進。
 ⑤ 行政分野。町のPR・広報。

問 数年前から取り組んでいるヘンプ(産業用大麻)の状況は。
 答 大麻を取り巻く環境があまり良くない。北海道としての取り組みが遅れているが、町としても北海道と足並みを合わせて取り組んでいく。



様々な生活用品に活用できるといわれるヘンプ

問 定住奨励事業(※)の現時点での28年度実績は何件なのか、また今後も継続するのか。
 答 28年度実績は0件。新年度から始まる新たな定住促進施策と併せて多くの方に本制度を活用して家を建ててもらいたい。

※白糠町太陽のまち定住奨励助成事業
 地元の木材を使用した在来工法による建築で、太陽光発電システムを設置した住宅を新築した場合、最大で180万円(町外からの移住者は200万円)を助成。

その他の事項

問 隣の釧路市には全国から移住者が集まっており、そこを取り込むことも必要ではないか。
 答 釧路市は民間企業も含めて体制が整っている。市と情報交換している中では、釧路を拠点にして短期移住者は広域的に動いており、白糠の恋問館や遊漁船も利用している。そういった方は独自のネットワークをもっているため、今後そういった方々にも町のPRをしていきたい。

問 地域整備補助金を一部の町内会に支出しているが、当時に状況が変わっている。整理する時ではないか。
 答 過去の経過から大変なエネルギーを使ってきたが、地域と話をする時期と言われればそれは謙虚に受け止める。

問 字名改正の状況と今後のスケジュールは。
 答 平成27年度から29年度までの三年間で進めており、29年度は図面の印刷、通知関係、鳥瞰図の作成等を予定している。6月定例会に諮り、実施は現在のところ9月を予定している。

教育に関すること

問 白糠小学校の移転はどうなったのか。
 答 防災目的で移転要望を北海道に提出しているが、具体的な議論にはいたっていない。ある程度内容が固まり次第議会に相談しながら進めたい。



河川から近く、移転が望まれる白糠小学校

問 医療費の無料化対象者を拡大するが、対象人数の見込みは。また、中学や高校から他町村へいく生徒はどうなるのか。
 答 拡大分15~18歳までで140人。町外に住所を移した生徒は対象にならない。

問 庶路小中学校が来年開校するが、宮下地区など学校が遠くなる地区の児童生徒に対してスクールバスで送迎する考えはないか。
 答 宮下神社の下から学校までは2.3キロ程で他と比較して極端に遠いわけではない。スクールバスで送迎はしないが、横断歩道や照明の整備、交通安全指導員の配置等について関係課と協議しながら通学路の安全確保に努める。

問 白糠高校の卒業生を対象とした給付型奨学金について、条件等の内容は。
 答 対象者条件については現在高校で検討している。支給額については一人月額3万円が3名分を予定している。

予算特別委員会は3月7日から8日の二日間にわたって行われ、新年度から力を入れる地域活性化支援員、継続して取り組みを行うヤナギやヘンプ等、詳細に審査を行いました。

白熱！ 予算審査特別委員会

問 温水プールの指定管理委託料が昨年より上がっている理由は。
 答 温浴施設が出来たことで積算方法が変わった。今後5年間は基本的に変わらないが、新たに負担が生じる場合もあるので、その場合は変更となる可能性もある。



昨年温浴施設が増設された温水プール

第一回定例会

平成29年第1回定例会は3月2日に開会し、予算審査特別委員会を挟んで3月9日に閉会しました。
 初日は行政報告、町政執行方針、一般質問等を行いました。
 2日目は専決処分承認、28年度補正予算等について審議しました。

3日目は新年度予算など7議案の審査を予算特別委員会に付託しました（委員会の内容は6〜7ページ）。
 最終日は付託した7議案を可決し、その他条例の制定の他、町道の認定を行い閉会しました。

補正予算

◆一般会計

被災した農業者向け補助金、被災した木材加工流通施設等への交付金、チセ移転改築事業に係る経費、漁業協同組合が進める荷さばき施設等改築事業に係る間接補助金等の補正により、6億505万9千円を増額し、予算総額を98億7603万円としました。

質疑・答弁

◆被災農業者向け補助金

福地議員 被災対象事業者は

する考えはないか。
 福地課長 使えるところは地元材を使用したい。



移転改築が予定される現在のチセ

◆機構集積協力金交付事業補助金

小池議員 対象農地面積は。また、この補助金は貸し付けする者が対象になるのか。
 経済課長 普通畑・デントコーンが3.48ヘクタール。牧草畑が3.23ヘクタール。
 一旦中間管理機構に農地を貸し付け、さらに別な方に転貸するという内容で、基本的に農地を貸し付ける方が対象となる。

◆災害復旧費国庫負担金

福地議員 被災した庶路中学校の屋根の関係、国からの補助

法人なのか。また園芸施設共済には加入していたのか。
 経済課長 対象者は1人と1個人。共済には加入していなかったが、今後加入を検討している。

◆被災した木材加工流通施設等への交付金

福地議員 すでに昨年11月に自己資金で完了しているとのことだが、積算根拠と整合性は。
 経済課長 工場の屋根の破損3カ所、その他シャッター等を修繕し、実績に基づいて759万円から消費税を除いた額が算定対象になる。
 経済部長 整合性については台風被害の支援策として本年1月17日付けで要綱が改正され、

条例

◆定住宅地の無償譲渡に関する条例

遊休町有地を無償で譲渡するために必要な手続きを定めま

質疑・答弁

福地議員 29年度に無償提供する土地の筆数と面積は。また内外にアピールするうえで

◆漁協荷さばき施設等改築への補助金



5億円の大規模改修となる荷さばき施設

福地議員 屋根付き岸壁を整備する予定はないか。また、ハ

その中で既に工事が終わっているものについても交付対象になるという内容だったので、計画を提出して3月1日付けで内示をもらった。

地名をつけてはどうか。
 経済部長 13筆で面積は2万3602平方メートル。
 団地名は条例改正後、必要に応じて規則で定める。

◆新築住宅の固定資産税減免に関する条例

町内に新築された住宅に対し、現行の地方税法に規定する減額措置と同額を町独自の政策として上乗せするために必要な事項を定めます。

質疑・答弁

中村議員 条例中の「長期優良住宅」とは。
 経済課長 劣化対策、耐震性等9項目の国の基準をクリアした

指定管理者の指定

◆ふれあい児童館

西庶路のふれあい児童館を



地域の子供たちに愛されるふれあい児童館

質疑・答弁

中村議員 町の直営から指定管理者に変更することで現場の職員数が変わることはないか。
 福地課長 変更はない。
 福地議員 指定期間が3年と短いことだが、期間が短ければ職員の雇用が難しく、場当たり的運営しかできない。
 福地課長 長ければ安定した経営はできるが、初回であることから3年としている。

オカモトが指定管理者として管理します。

みづくりをしたい。
 ※ハサップ
 原材料から最終製品に至る食品の製造工程で衛生・品質を管理する国際基準。
 宇宙食の衛生管理のために生まれたシステムで、アメリカやヨーロッパでは義務付けが進んでいます。

◆チセ移転改築事業

福地議員 現在のチセはどうなるのか。構造材を含めてまだ活用できるものが多い。
 保健福祉部長 利活用を含めて基本的には除却ということでアイヌ協会とは話をしている。

石田議員 地元の木材を使用

議会に足を運んでみませんか。

町民みなさんの議会です。

定例会開会前に役場1階ロビーで会議日程及び一般質問の概要を掲示しております。

町のホームページにも議会情報を掲載しております。

<http://www.town.shiranuka.lg.jp/>



立石 巧
①産業厚生常任副委員長



点

③折り返しの2年間、6年前の初心を忘れることなく、住民目線に立ち活動する。産厚副委員長として、一次産業の振興を図る事を、議員のライフワークとして取り組んでいきたい。

②議会運営、林活議連、産厚委員会活動に尽力してきた。地域住民の声を行政に届けるよう努めてきたが、定例会での一般質問に関しては質問回数不足と感じている。



折出 征清
①総務文教常任委員長



点

②総務文教常任委員として庶路小中学校の改築を中心に調査研究を行ってきたが、私ごとになるが皆さま方にご迷惑をかけ、議員活動も不足してしまっただけ2年間と思っっている。

③災害に強い町づくりを目指し、長年の課題であった消防庁舎の改築についての調査研究と共に、議会改革の一環として議員定数等の議論も進めていかなければならない。



中村 仁志
①産業厚生常任委員長



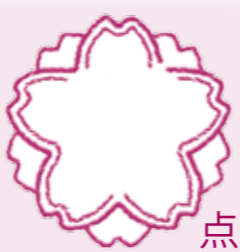
点

③日々緊張感を持って、議員力アップ、議会力アップを目指し、町民の声を一人でも多く聞き説明責任を果たしながら、行財政改革と常任委員会を積極的に推進していきたい。

②事務調査として蔬菜農地先進地、木質バイオマス等、道外視察を通し、これからの町づくりの指針であり、具体的施策としてあるので取り組んできた。



中河 敏史
①産業厚生常任委員



点

②町政に対し正しい事は正しい、誤りは誤りとの事で町政を視てきた。その結果是正された事案もあったが、なっとく出来ない部分も多々あり難しさを感じた二年だった。

③町民の代表として、町民の目線で町政を視、事案の是非を判断し、自分の意見を述べ、併せて町民の意見を良く聞き町政にとどけていきたいと思っっている。



富田 忠行
①議会運営委員長



点

③議会運営委員長として議会改革やさまざまな地域課題の解決に向けて取り組むと共に、平成30年4月に義務教育学校としてスタートする庶路小中学校を地域と協力して支援していく。

②母校である庶路小中学校の改築事業に関わったことは感慨深い。多発する自然災害への対応や防災活動にも取り組んだが、議員として全ての課題を完遂できたとは思っていない。



小野 キサ
①総務文教常任委員長



点

②総務文教常任委員として、担当課題である庶路小中学校の改築、ふるさと納税の推進等に係ると共に、信条である女性目線で町民の声を教育・福祉問題の中で取り組むことができた。

③委員会として(1)小中一貫教育と国際交流の推進 (2)消防庁舎改築 (3)給食センター運営等、残された期間の中で各施策の検証実現の研修に重点を置き、まちづくりに生かしていく。



石田 正義
①副議長



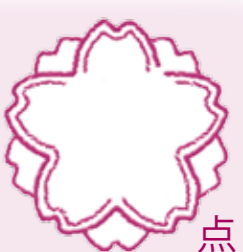
点

②副議長としての命を受けて議長を補佐し、議会運営に尽力してきたが、振り返ると至らない点があり、また、町民目線での活動も不足していたと感じている。

③「開かれた議会」「説明責任を果たす」という議会としての役割を見つめ直し、町民からの意見を町づくりに取り入れる活動に傾注する。



丸子 忠
①議長



点

②数次の行財政改革を実施し、町民の皆さんと共に頑張ってきた。この成果を誇りに思うと共に、グローバル社会を生き抜くため、次世代の人材育成に努めることで町の財産としたい。

③地場資源を活用した新産業の発展に取り組む。また、議会に与えられた責務を全うし、町民の総意を十分尊重の上、町政の伸展に挺身し、町民の期待に報いたい。



私たちの通信簿

平成27年春の統一地方選から2年、議会では任期4年間の折り返しを迎えました。

その間、8回の定例会と4回の臨時会、そして延べ130回を超える委員会等を開催してきましたが、町民皆さんの目は議会や議員の活動がどのように映ったのでしょうか？

議会だよりでは改選後の129号で全議員が今後4年間に向けての抱負を掲載いたしました。今号ではそれらを踏まえて、ここまでの前期2年間の議員活動の内容、またこれからの2年間に向けての思いを掲載いたします。

①主な役職

②これまで2年間を振り返って

③残された2年間に向けて

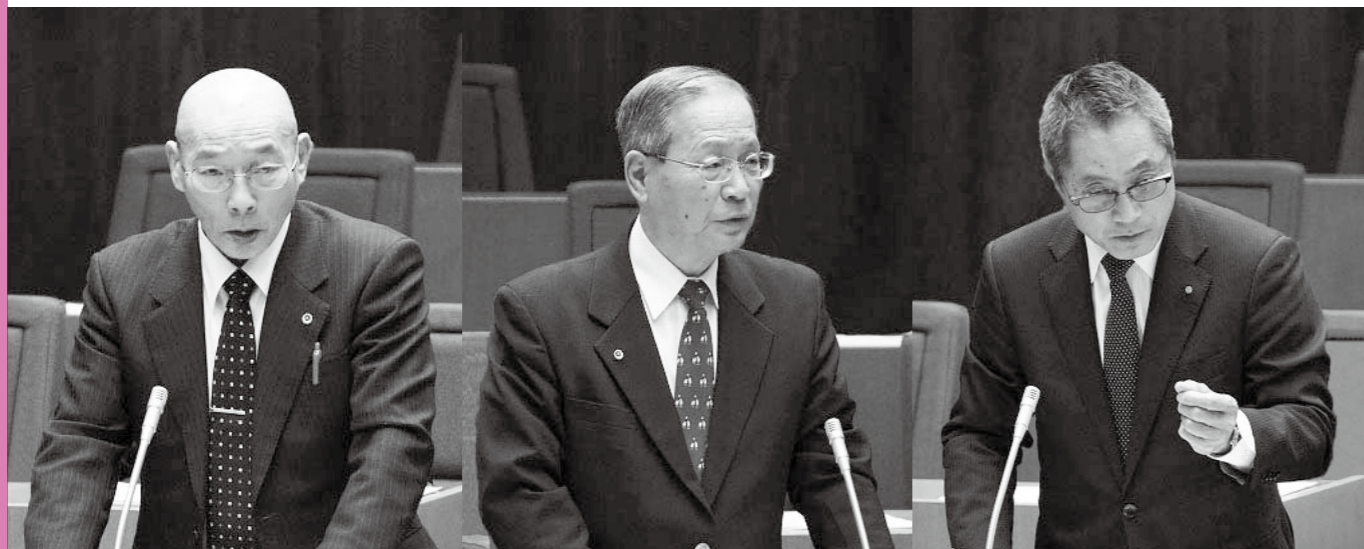


写真：平成28年8月の台風による被害状況を全議員で調査（平成28年9月庶路中学校）



一般質問は6名の議員が登壇し、子育て支援、高齢者の貧困対策、白糠高等学校の今後について等17件28項目について質問を行いました。

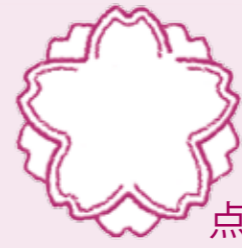
- ① **小野 キサ** 議員
 - (1) 子育て支援について (2) 公共交通網について
- ② **鎌田 民子** 議員
 - (1) 高齢者の貧困対策のための実態調べを
 - (2) 低年金受給者の特別養護老人ホームへの入所について 他1件
- ③ **中河 敏史** 議員
 - (1) 白糠高等学校の今後について
 - (2) 生活保護者に対する就労支援について 他1件
- ④ **福地 裕行** 議員
 - (1) 人口減対策について
 - (2) 白糠高等学校の存続問題について 他2件
- ⑤ **中村 仁志** 議員
 - (1) 町内会活動マニュアル作成について
 - (2) 小中学生の学力試験の結果について 他1件
- ⑥ **岡嶋 賢悟** 議員
 - (1) 避難準備情報の名称変更について
 - (2) 地方創生総合戦略の成果について



一般質問



① 広報調査特別副委員長
鎌田 民子

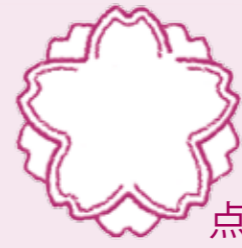


② 「声」をあげられない人たちの「意」を行政に伝えてきた。十分な活動とは言えないが、広報、産業厚生、議会運営委員会での研修、調査活動等を通じて、前期は充実していた。

③ 四期目の後半、初心から比べて謙虚さに欠ける行動を反省し、引き続き町民みなさんの声を議会に届ける。議会改革に向けては引き続き他の議員としっかり議論をすすめていく。



① 産業厚生常任委員
福地 裕行



② 多数決だけが罷り通る町政文化は、長期に亘る権力の一極集中による弊害。本気度・覚悟の足りない陳腐化した町政に風穴を開けんと筋の通らないこと・不条理にも真言居士を貫ぬきつ。

③ 結果責任が問われる町の現状を直視。次代にも思いを馳せ、あくまでも町民目線で、弥縫策による解れゆく体を変えたく、安住に警鐘を鳴らしつつ、提言も続けて町民の負託に答える。



① 総務文教常任委員
岡嶋 賢悟



② この2年間、地震津波対策や地域環境衛生について取り組んできたが、まだ十分ではなく、今後も引き続き取り組む。

③ 庶路小中学校開校に向けて子供たちが安全に通学出来るよう通学路の安全点検、交通安全対策に取り組みたい。



① 広報調査特別委員長
山吉 公德



② 監査委員として住民よりお預かりした財源が適正に使われているかどうかを月3回以上出納検査等を行ってきた。広報委員長としては、たよりを通してタイムリーに情報を伝えてきた。

③ より一層気をしめて議員活動を行う。監査委員としては税金が的確に運用されているか検査をしっかりと行う。広報委員としては、議会情報を届ける情報紙の視点に立ち進めさせたい。



① 産業厚生常任委員
小池 憲一



② 農業分野においてTMRセンターの運営支援や担い手対策の充実と意を注いだ。また、防災対策として庶路小中学校の高台移転にも積極的に関わりながら安心なまちづくりに努めた。

③ 一次産業の振興のため、民間活力を導入しながら支援体制の充実・強化に努める。また、高度成長期以降に建設されたインフラの長寿命化に努め、安心で快適な町づくりを進める。

▼「私たちの通信簿」として立ち上げた今回の企画。当初広報委員会では、民間企業や行政にも導入されている「自己評価」による「採点」を各議員に提出してもらい、文章では読み取れない本気度を明確に示した上で、町民の皆さんに2年間の活動を検証してもらおう予定でしたが、議員協議の中で異論が出されたこともあり、採点の掲載は見送ることとなりました▼

点数を表示する予定だった桜のマークが空欄になっているのはそのためですが、この企画を読んだ皆さんに評価・採点をしていただき、併せて残された2年間の活動に注目していただきたいと思います。



編集に苦悩する広報委員



鎌田 民子 議員
Kamada Tamiko

高齢者の貧困対策の実態把握は

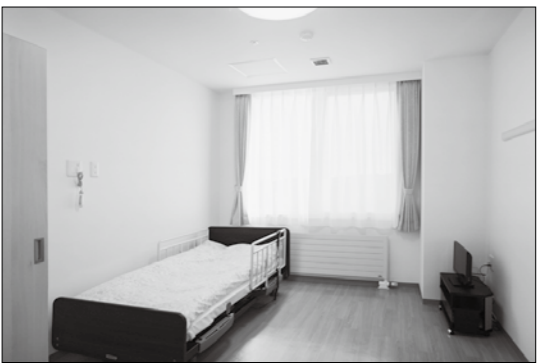
町 各情報を得て把握に努めている

○全国で現在65歳以上の人口が3400万人を超える中、高齢者の貧困率は18%という数値がでている。高齢期になれば一部を除き誰もが貧困に陥る可能性があり、本町においても例外ではない。生活実態をどう認識し、把握をどう行っているか。

○一月月約5〜6万円の国民年金、またはそれ以下の受給者の方は生活費等を差し引くとかなり厳しい実態にある。現行の施策等も合わせて貧困問題解決に向けた取り組みについて伺う。



昨年移転改築された特別養護老人ホーム清和園



○3年毎の白糠町高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画の策定時に生活状況調査を実施した中で把握している。社協や町内会、民政委員、各介護サービス事業所など地域からの情報提供を得ながら把握に努め、個別の相談、支援を行って伺う。

○国民年金を満額受給している方でも一月月約6万5千円。「特別養護老人ホームへ入所できるのか」という不安の声を多く聞く。要介護度の声によって異なると思いが、一月月当たりの自己負担額ほどの程度か。また、低所得者に対する減免制度について伺う。

町 各種軽減制度等に より可能である

○「ユニット型個室」になった。居住費(部屋代)は増額になったが、「高額介護サービス費」や、「特定入所者介護サービス費」など負担軽減の制度がある。

町 同額に引き上げる 予算措置をした

○国の平成29年度予算案で、要保護世帯に対する入学準備費用の単価が引き上げられた。準要保護世帯にも単価引き上げの適用をすべきと思うが考えを伺う。

改正内容

- 小学生 20,470円 → 40,600円
- 中学生 23,550円 → 47,400円



小野 キサ 議員
Ono Kisa

産前産後ケアは万全か

町 支援内容等の充実推進を図る

○産前産後のケア状況について伺う。

○産前支援は、保健師・管理栄養士の面接と妊婦アンケートにより要支援妊婦を把握し、医療機関等と連携を図りながら指導支援している。

○産後支援は、新生児期に家庭訪問を行い、要支援者には保健師が継続的に家庭訪問を行う支援している。

○平成27年度の実績としては、要支援妊婦4人に対して産前から家庭訪問を実施し、出産時の医療機関連携支援などを行い、その後も子育て状況や生活状況を継続的に見守り対応している。

○妊産婦のケアに対するアンケート調査の内容について、子育て関連の調査項目と比較して妊産婦ケア項目が不足していると感じるが改善する考えはないか。

○今後は妊産婦ケア項目を追加充実させていく。

○産前産後ケア施設等の利用者に対して助成する考えはないか。

○本町に施設がなく、釧路市・釧路町に施設はあるが白糠町民の利用実績はない。今後子育てアンケート調査等により状況を把握した上で対応を検討する。

○企業進出等による移住者の増加を考えた時、支援体制の強化は早急に必要である。今後ケアの希望者が出た場合の対応策を伺う。

○29年度から実施予定の「子育てサポート事業」の内容について伺う。

○町が開催する講習会を受講し、必要な知識を習得した方が一時的に子どもを預かる会員制の事業。29年5月から開始するが、現在5名から援助者の申し込みが来ている。

平成29年度公共交通実 証運行計画の内容は

町 有料で7月から8
月に実施する

○平成28年度に実施した実証運行の分析と平成29年度に向けての考え方を伺う。

○有料運行の料金及び設定根拠は。

○市街地コミュニティバスが定額で200円。

○山間部の予約制バス・タクシーは200円から500円。設定根拠については、

- ・利用しやすく、わかりやすい
- ・現行の町営バスより低額
- ・民間バス料金を圧迫しない
- ・公共交通アンケート



昨年の実証試験で好評だったコミュニティバス

○町民への周知方法は。○白糠町地域公共交通活性化協議会の承認後、関係機関への申請手続きが終了次第、広報配布時に時刻表やルートマップを掲載したパンフレットを同封すると共に、町のホームページで公表する。また、地域説明会や出前講座を実施し、利用方法など要望に合わせて周知を図っていく。



福地 裕行 議員
Fukuchi Hiroki

まちの現状を直視せよ

町 認識は同じ。総合的に取り組む

最早、危い白糠高校

【問】平成29年度の白糠高等学校の受験者数は22名（一次募集時）とのことである。わが町は昨年から高校存続のために努力してきたが、この受験者数をどのように受けとめているか。

【答】町議会、白糠高等学校教育振興協議会、道教委等と協議を重ね、2間口確保を目標に関係者一丸となって取り組んできたが、予想外の受験者数となり、非常に厳しい状況と認識している。ただ、学力向上を特色とする魅力づくりの方向性に間違いはなく、今後も魅力づくりに全力を注いでいく覚悟でいる。

【問】P R の面で公式ホームページなどは全く活用されていない。人的な課題があった。早急且つ全面的に見直す。

【答】P R の面で公式ホームページなどは全く活用されていない。人的な課題があった。早急且つ全面的に見直す。

町 魅力化の推進に徹底的に取り組む

【問】出願状況は倍率が前年比減となった。最早、学級減、地域キャンパス校化は必定の様相だが、危機感が乏しい。昨秋以降、どう取り組んだのか。



道立広域公園予定地(庶路泊別)

道立広域公園はどうなっている

町 引き続き要請活動を推進する

町 新たな取り組みを進める

農業は一大成長産業

【問】早期の誘致を目指し独自に公園構想も策定したが、その言や良しもその後、動きが見えない。維持管理費の負担も明確でない中、現段階では誘致自体両手を挙げての賛成はできないが、計画の進捗はどうなっている。



中河 敏史 議員
Nakagawa Toshifumi

魅力ある白糠高校の今後は

町 魅力づくりの方向性に間違いはない

【問】平成29年度の白糠高等学校の受験者数は22名（一次募集時）とのことである。わが町は昨年から高校存続のために努力してきたが、この受験者数をどのように受けとめているか。

【答】町議会、白糠高等学校教育振興協議会、道教委等と協議を重ね、2間口確保を目標に関係者一丸となって取り組んできたが、予想外の受験者数となり、非常に厳しい状況と認識している。ただ、学力向上を特色とする魅力づくりの方向性に間違いはなく、今後も魅力づくりに全力を注いでいく覚悟でいる。

生活保護者の就労支援は

町 関係機関と連携して支援していく

【問】生活保護受給者が増加して

いるが、わが町の現況と就労支援はどのように行われているか。

【答】平成28年4月1日現在の受給者は322人で、前年よりも27人の減。その内65歳以上の受給者は154人で6人の減、母子家庭の受給者は44人で21人の減となっている。生活保護受給者に対する就労支援は、自立した生活を送ることが見込める者に限り、資格取得費や就労活動促進費等の支援を北海道が講じている。

町 2社は町外業者に、1社は減量化

【問】昨年の12月にエゾシカの残さ処理を行っていた業者が受け入れを停止した。町内には3社のエゾシカ加工処理業者があり困惑しているが、町の考えを伺う。

【問】未就労家庭の児童生徒に対する生活環境及び教育環境の実態は。

【問】町内にエゾシカの加工処理業者は3社あるが、現在はどうのように残さを処理しているのか。



駆除後の処理に苦慮しているエゾシカ

【問】北海道環境生活部環境局エゾシカ対策室による微生物による減量化の方法に基づいて行われているのか。

【問】産廃廃棄物処理法に則って報告されているのか、その中に記載されている諸条件が遵守されているのか。

【問】町には報告されていない。振興局と相談しながら必要に応じて現地等確認したい。



中村 仁志 議員
Nakamura hitoshi

町内会活動マニュアルの作成は

町 必要性も含めて検討する

町内会運営の課題でもある役員の高齢化や後継不足を解決するためにも、町内会の規約や会計に関する「統一ルール」の導入、また町内会から白糠町への要望の出し方や住民へのフィードバックの在り方など、町内会の民主的な運営のための手引き、ハンドブックを作成できないか。

町内会の課題については白糠町連合町内会からも話を聞いており、また、その理事会などで今後議論の必要性が提起されているので、マニュアルの必要性も含めて活動の在り方などについて検討していきたい。

学力テストの結果はどの程度か

町 全国・全道平均を下回っている

町 昨年実施した学力テストに

おいて、いずれの教科も北海道の平均値は全国平均を下回っているが、町内校の結果は全国・全道平均と比較してどの程度の位置にあるのか。また結果からの考察と取り組みを伺う。

結果からの考察としては、小学校では授業で話し合いの時間を多く取り入れる事で国語の「話す・聞く」が向上し、中学校では宿題に取り組み生徒が全国・全道平均より多く、結果として学力の向上がみられるなど、教員により授業の工夫や家庭学習の働きかけが徐々に効果をあげてきている。

課題としては家庭でのテレビ、ビデオの視聴時間と、ゲームや携帯電話の使用時間が長いことであり、家庭学習の時間や睡眠時間が短くなる事につながっている。

学校での授業の工夫に加え、望ましい生活習慣を確立することが学力向上の支えとなる。今後も家庭や地域の協

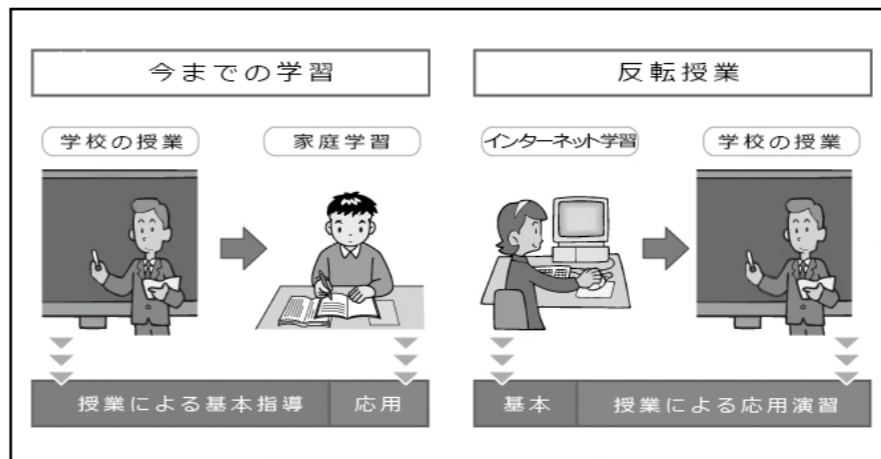
「反転授業」の適切性・有効性は

町 効果の実証が必要

力を得ながら取り組んでいきたい。

反転授業と宿題の役割を反転させる授業形態である「反転授業（※）」の適切性や有効性について伺う。

町 インターネット環境の整備等を段階的に進めているが、反転授業を導入するには効果の実証が必要と考える。



（※）反転授業とは
家庭で児童・生徒一人一人がインターネット動画等による講義を受けて学習し、学校の授業ではあらかじめ家庭で習得した学習内容の確認やそれに基づく討論・発表を行う、従来の家庭と学校での学習内容を反転させたもの。
児童・生徒の学習意欲や学習効率の向上が期待できる反面、保護者が家庭での学習を促し、支援する必要がある、またインターネット等の学習環境を整備しなければならぬ。



岡嶋 賢悟 議員
Okajima kenko

避難準備情報の変更内容は

町 名称変更するが防災計画上の行動は変わらない

町 内閣府が昨年12月、集中豪雨などの災害時に高齢者や障がい者の早期避難を促すため、市町村が出す「避難準備情報」の名称を変更したが次の2項目について伺う。

町 現在の防災無線は風向き等によっては聞き取れない。普段から台風情報のマニュアルが必要と思うが考えを伺う。

町 1時間当たり30ミリ以上雨が降ると危険であることから、広報や町内会の避難訓練時に併せて広く周知したい。

町 「避難指示」の変更後の内容は、

町 「避難指示」は緊急性を伝えるため「避難指示（緊急）」に名称を変更し、発令の際には直ちにその場から避難すること、また河川の増水等により命に危険が及ぶような状況の方は安全なところに避難するように、避難に関する行動情報を発令する。今後は広報や町内会の避難訓練などを通じて周知徹底を図る。

地方創生総合戦略の成果は

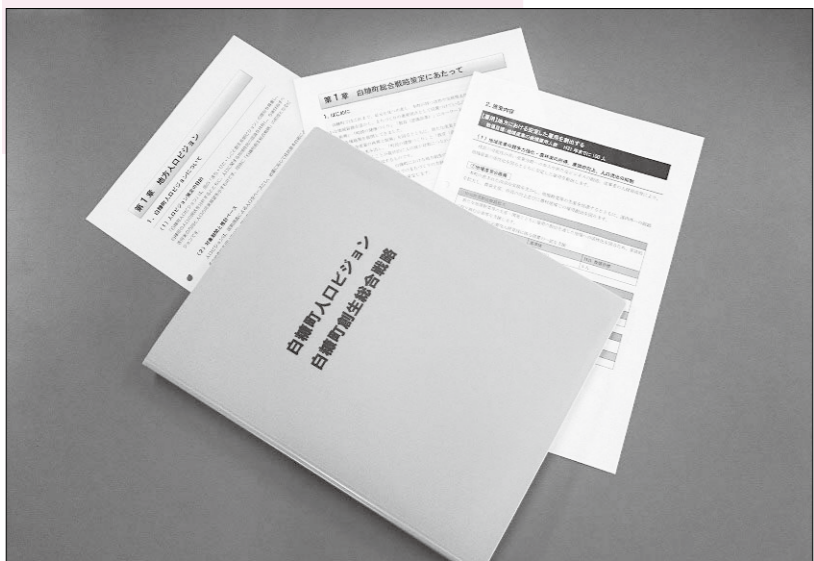
町 子育て支援策等、確実に進んでいる

町 地方創生総合戦略について

町 昨年10月から11月にかけて179市町村に対してアンケート調査が実施され、その中で「成果が得られた」との回答は12.2%にとどまったと聞く。我が町の政策の成果はどうだったのか。また今後、より成果を上げるためにどのように取り組んでいくのか。

町 声を国の政策に生かせるという事を望む。

町 引き続き白糠町創生総合戦略推進会議や議会からの意見を基に検証を行い、人口減少に歯止めをかけるために一次産業の再興と振興、子育て、教育、住宅施設の各種施策を一体的かつ総合的に取り組む。



計画の策定から3年目を迎えた総合戦略

傍聴席から

まちづくりや議会に対する町民意見を掲載する「傍聴席から」。

今回で登場いただくのは、旦那様が山口県、奥様が愛媛県のご出身でありながら、本町の茶路地区に移住された栗山さんご家族です。

人口減少対策に取り組む上で、のヒントになるような、貴重なお話を聞かせていただきます。

YOUは何しに白糠へ

【担当】北海道に来たのはどういった理由から？

【仁史さん】こちらに来る前の勤務地は東京だったんですけど、妻の友人の紹介で鶴居村の乗馬ができる牧場に年に何度か遊びに来ていまして、そのうちに気候とかが気に入ったり、人の繋がりができたり、年齢的にも自分の暮らし方を見つめ直したいという時期でもありまして、そういう事がいろいろ重

なったときに会社に異動の願いを出したらたまたまこちら（釧路市音別）で欠員が出たので、平成19年の8月に釧路の星が浦に引っ越してきました。



飼育している道産子の千太郎と千鶴姫

しらぬかで見つけた「人生の楽園」



栗山さんご家族

- ひとし 仁史さん 46歳
- あきこ 晶子さん 45歳
- たいち 泰地くん 5歳
- タータ(ネコ) 5歳

新施策どうでしょう

【担当】新年度からスタートする各施策についてはどう感じていますか？

【仁史さん】給食費や医療費を無料にするのは住んでいる人にはやさしい施策だと感じています。他からの移住を考

【担当】どうして白糠に？

【仁史さん】星が浦のアパートに住んで二カ月くらいたった頃なんですが、鶴居の牧場から怪我をして乗用馬としては使えなくなった馬を飼ってみないかという話があったんですよ。その馬は東京から遊びに来ていた時に妻がよく乗っていた馬だったので、何とか引き取れないかという思いで翌年の3月から飼うことにしました。

【晶子さん】まず馬を飼える土地や家を探したんですけど、釧路市と合併せずに自立の道を選

完成！ドリームハウス

【担当】現在のお家はいつ頃、なぜ建てられたんですか？

【仁史さん】「俺たちそんなに歳じゃないんだけど」って思ったけど（笑）。



「テレビ番組の『人生の楽園』みたいだね」って言われたよね

【仁史さん】平成21年の春先から土地を探しまして、土地を見つけて家が建ったのはその年の暮れですね。

【仁史さん】平成21年の春先から土地を探しまして、土地を見つけて家が建ったのはその年の暮れですね。東京に7年いたんですけど、暮らすなら静かなところが好きだったので。そういう意味では馬だけではなくて、土地が肌りでは結構読まれていますよ（笑）。



平成29年3月18日栗山さん宅にて

一筆御礼

利便性や簡易に心を満たしてくれる刺激を求めて都市部に人が集まる中、それらに乏しい地方になぜ移住してきたのか。人口減少対策に臨む上でのヒントがここにあるような気がしてお話を聞かせていただきまして、感じたのは夢のために何の躊躇もなく障書を乗り越えていこうとする気概と覚悟、そしてこの地で生まれ、育てた我が子と愛馬への慈愛でした。

町の人口がどうなるのかは誰にもわからないけれど、白糠町にはこんなに強くて優しい家族が住んでいる。デパートや大きな病院はないけれど、この町には暖かい「人」がいる。「人は財産」という言葉を思い出した2時間でした。（議会広報担当）

「俺たちそんなに歳じゃないんだけど」って思ったけど（笑）



えた時、賃貸住宅で生活していた人はいきなり白糠に家を建てるよりも賃貸住宅に越してくる方が移りやすいと思うんですよね。けれど賃貸住宅のクオリティー等含めて家賃を比べると釧路市よりも高いので、需要と供給の問題だから難しいかも

【晶子さん】無料化には本当に驚いたし嬉しく思っています。子供が生まれてから医療費の無料化にすごく救われたんです

【晶子さん】世代や立場とか皆さんそれぞれ着眼点が違うからかもしれないですが、一般質問で白糠とはあまり関係ないと思うような、それは必要なかなあと思うものはありますね。あと、議会日より、私のまわ

【おしらせ】居酒屋しんさんからのご提供〜5月末までの来店時「議会だより見たよ」で、料理を一品サービス（お一人様一回限り）。



「しらぬかい店 こんな店」

居酒屋しん

今号でご紹介するのは、白糖にお店を構えて今年で20年を迎える「居酒屋しん」さんです。

店の一番人気は何と言っても炭火で焼き上げる焼き鳥ですが、それもそのはず、店主の山崎信也さんのご実家は昔札幌で焼き鳥屋を営んでいた（頑固なお父さんと鳥串が有名だったそうです）、居酒屋しんではその秘伝のたれを20年間継ぎ足して使われています。

そんな鼻腔をくすぐる焼き鳥の匂いと店主の気さくな人柄にひかれて、店にはさまざまな年齢、職種の客が訪れますが、常連の一人は店の雰囲気から、ドラマにもなった漫画「深夜食堂」のようだと言います。いつも惜まれ口をたたいているけれど不思議と周りに愛される初老の男性客、その隣ではお酒を飲まずに焼き鳥丼をかきこむサラリーマン、PTAの会合後と思われるご夫人たち

ちはビール片手に井戸端会議。

一見さんも常連さんも、店主を中心にいつの間にか同じ話題で盛り上がり上がっている。そんな「深夜食堂」のような光景がここにあります。

未体験の方は今晩ひと串いかがでしょうか。

住所：白糖町東一条南二丁目

電話：（2）2778



店主の山崎信也さん「ご予算にあわせて宴会も賜ります」

※ 135号で「レストランはまなす」さんからご提供いただいたお食事券につきましては、3月定例会を傍聴いただいた方の中から、Mさん(女性)、Yさん(女性)が当選されました。



「あとがき」

平成29年度予算が3月9日の第一回定例会で議決されました。新規施策として、昨年の町長選挙において公約として掲げられた子育て・教育・住宅対策が実施されます。

「自立の道」を選択以来、厳しい財政状況を踏まえてさらなる行財政改革の断行により町民皆さまにはご不便をおかけしたところですが、将来を見据えて積極的に企業誘致を進めてきた結果、税収が増加したことにより町民皆さまに少しでも還元すべく、18歳までの医療費の無料化、第1子の出産祝い金の支給、第2子からの給食費及び保育料の無料化、小中入学児童生徒入学金支援金、町有地の無償提供等今までない思いきった施策が実行されます。この施策のすべてが人口減少対策、移住・定住促進につながるもので、大いに期待しているところですよ。

(富田)



「今号の表紙」



▼「議会だより」リニューアル第1号の表紙を飾ったのは、南の国から本町に移住された栗山さんご家族です。

「議会だより」の固いイメージを払拭することに苦心する中、一番悩んだのが冊子の顔となる表紙の写真でしたが、決め手となったのは写真から感じた「ぬくもり」「家族の絆」でした。

悩み続けた136号がようやく発刊。

「読まれなければ

『だより』じゃなく」これからも一人でも多くの町民の方を読んでいただける「議会だより」を目指していきます。